

臨床腫瘍学

責任者・コーディネーター	泌尿器科学講座 藤岡 知昭 教授		
担当講座・学科(分野)	病理学講座分子診断病理学分野、腫瘍生物学研究部門、放射線医学講座、内科学講座血液・腫瘍内科分野、泌尿器科学講座		
担当教員	菅井 有 教授、中村 隆二 教授、伊藤 薫樹 准教授、高田 亮 講師、小宅 達郎 助教、前沢 千早 教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

臨床腫瘍学では、臓器別ではなく横断的な講義を通じて臨床腫瘍学の基礎および治療総論を理解することが求められる。

・一般目標（GIO）

臨床腫瘍学の講義を通じて、腫瘍の生物学的特徴や症候、診断法や治療法の原理を理解することによって、がん治療を効果的かつ安全に行える思考能力を身につける。

・到達目標（SBO）

1. がんの生物学的特徴を説明できる。
2. がん緊急症・腫瘍随伴症候群の病態や治療を説明できる。
3. 細胞診・組織診の方法と適応を概説し、がんの代表的な所見を説明できる。
4. 放射線療法の原理、適応および限界を説明できる。
5. 代表的な抗がん化学療法薬について、種類、作用機序、適応となる代表的疾患、薬物投与方法、副作用を概説できる。
6. がん薬物療法の効果と毒性の評価について概説できる。
7. 緩和医療を定義できる。
8. がん性疼痛の種類と病態について説明できる。
9. WHO 方式がん疼痛治療法を説明できる。
10. 鎮痛薬の種類・投与方法・代表的な副作用とその対策を説明できる。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/18	木	3	血液・腫瘍 内科分野	伊藤 薫樹 准教授	臨床腫瘍学総論
10/18	木	4	腫瘍生物学 研究部門	前沢 千早 教授	がんに蓄積する遺伝子異常の個性と その分子診断法について概説する
10/25	木	3	泌尿器科学 講座	高田 亮 講師	がんの遺伝子異常を標的とした治療 法について概説する
10/25	木	4	分子診断病 理学分野	菅井 有 教授	がんの病理診断
11/1	木	3	放射線医学 講座	中村 隆二 教授	放射線治療
11/1	木	4	血液・腫瘍 内科分野	小宅 達郎 助教	がん薬物療法 1
11/8	木	3	血液・腫瘍 内科分野	伊藤 薫樹 准教授	がん薬物療法 2
11/8	木	4	血液・腫瘍 内科分野	伊藤 薫樹 准教授	緩和医療

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	新臨床腫瘍学：がん薬物療法 法専門医のために 改訂2版	日本臨床腫瘍学会 編	南江堂	2009
参	がん診療レジデントマニユアル 5版	国立がん研究センター内科レ ジデント編	医学書院	2010

・成績評価方法

統合試験による

・特記事項・その他

授業内容

1. 腫瘍生物学
2. 腫瘍症候学
3. がんの病理診断学
4. 放射線治療学
5. がん薬物療法学
6. 緩和医療

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン一式	1	講義